

2025年度金沢大学公式海外派遣プログラム

ユネスコエコパーク文化交流プログラム 募集説明資料

2026年2-3月ドイツ・フランス・
フィンランド、アメリカ

2025年11月

プログラム目的

ユネスコ登録地域

- ユネスコエコパーク（生物圏保存地域 BR Biosphere Reserve）
- ジオパーク（GP, Geopark）
- 世界遺産（WH, World Heritage Sites）

これらのフィールドを通じて、大学や地域社会/集落と連携しながらSDGsを学び、グローバル社会課題の解決に貢献できる人材として基礎を身につける。

プログラム概要

実施期間：

ドイツ 2026年3月18日～3月25日

フランス 2026年2月16日～2月24日

フィンランド 2026年3月9日～3月19日

米国 2026年3月3日～3月12日

募集人数：若干名

対象学生：正規学生

滞在形態：ホテル（Airbnb） 2名1室 または 1名1室

ドイツプログラム内容

2026年3月18日～3月25日

- Eberswalde 大学 訪問
- Chorinエコパーク
(Schorfheide-Chorin BR)
- 地元コミュニティと交流
- 環境保全・持続可能な開発を学ぶ
- 学生交流

参加費 約15万



ドイツ Eberswalde

エーベルスヴァルデ

ベルリンの北東約50kmに位置する人口約4万人の小都市。

「森の町」として知られ、豊かな自然環境と林業・環境保全の伝統を持つ。
かつて産業の町として発展した歴史を持ちながら、現在は持続可能性と地域資源を活かした街づくりで注目されている。

エーベルスヴァルデ応用科学大学 (HNEE)

ヨーロッパでも数少ない「持続可能な開発」に特化した大学。

林業、環境保全、持続可能な観光、地域開発などを専門とし、実践的な教育と地域連携を重視している。

キャンパスは小規模ながら国際性が高く、学生は地域社会や自然環境と密接に関わりながら学ぶことができる。



Schorfheide-Chorin BR

ユネスコ生物圏保存地域に指定されている広大な森林地帯。
貴重な湿地や湖、ビーバーや鶯などの野生動物が生息する。
林業、農業、観光が持続可能な形で共存する地域モデル。

学生アクティビティ（4ポイント）

サステナビリティをテーマにしたキャンバスマスターに参加する。
学生や教授と交流し、持続可能な開発の研究事例を学ぶ。
ワークショップで地域資源や森林の活用について議論する。
国際的な視点からサステナブルの未来を考える。



フランス プログラム内容

2026年2月16日～2月24日

- Toulous Paul Sabatie (トゥールーズ 第3大学ポール・サバティエ) 大学 訪問
- Dordogne (ドルドーニュ) エコパークで滞在
- 地元コミュニティと交流
- 地域課題を学ぶ
- 学生交流・フランスの歴史・社会・文化に触れる

参加費 約15万



トゥールーズ第3大学ポール・サバティエ

トゥールーズ

- フランス南西部に位置し、人口は約50万人、フランス第4の大都市。
- エアバス社など航空宇宙産業の拠点であり、1229年創設のトゥールーズ大学を中心に約13万人の学生を擁する学問・研究都市でもある。
- 赤レンガの街並みにより「バラ色の街」と呼ばれる。



大学概要

- 学生数約37,000人の国立大学
- 世界で最も古い歴史を持つ大学の一つ
- 理工系、医学、スポーツ科学の学部がある
- MABプログラムに関する修士課程がある



ドルドーニュ川流域ユネスコエコパーク

- 流域の面積は 24,000 km² で、人口は 100 万人以上。
- フランスの中心部を流れ、この地域に重要な生態系サービスを提供する。
- 生物多様性においてフランス国内、ヨーロッパ内で注目されている。
- 過去50年間で流域の農村地域が農地やレクリエーション空間に変貌し、空間的、社会的再編がもたらされた。
- フランスの最も美しい村が集中している地域としても知られる。



訪問先での体験、学習内容

- BR内住民との交流
- 河川生態系再生
- 文化的/歴史的遺産
- 生物多様性
- 水力発電
- ラスコー洞窟訪問（世界遺産）
- 地域のフランス料理

※具体的な訪問先は調整中。



フィンランドプログラム内容

2026年3月9日～3月19日

- フィンランド・Oulu大学 訪問
- フィンランドのジオパークを訪問、
- Rokuaジオパーク内滞在
- 地元コミュニティと交流
- 気候変動に対する課題を学ぶ
- 学生交流

参加費 約19万



フィンランド共和国 オウル Oulu

フィンランド第五の都市で人口は約21万人。

北極圏に近いオウル川河口に位置し、19世紀にはタール貿易で繁栄した歴史を持つ。

現在はIT・バイオ・医療など先端技術産業と大学を中心とする学術都市として発展し、美しい自然と活気ある文化・音楽イベントが融合する都市として知られている。



Rokua UNESCO Geopark

フィンランド初のユネスコ世界ジオパークで、オウル市から約80kmに位置する。

氷河の作用で形成された砂丘やエスカーや、清らかな湖が織りなす独特の景観が広がる地域。

人々の暮らしと自然が共生し、ハイキングやサイクリング、湖でのアクティビティを通じて地質遺産と豊かな自然を体感できる場所として知られている。



米国プログラム コロラド州

2026年3月3日～3月18日

- コロラド大学コロラドスプリングス校（UCCS）訪問
- ロッキー山脈など ハイキング
- 地元コミュニティと交流
- 学生交流
- アメリカの文化体験

参加費 約800 \$



コロラドスプリングス

アメリカ西部に位置し、ロッキー山脈と広大な平原が交差する自然豊かな州。

標高の高い山岳地帯、砂丘、化石林、温泉など多彩な自然景観が広がり、国立公園や州立公園を通じて自然と人間社会の関わりを学ぶことができる。

州内有数の都市コロラドスプリングスにはコロラド大学コロラドスプリングス校（UCCS）があり、環境・保全・地理などの分野で実践的な教育と地域連携活動が盛んに行われている。

キャンパス体験に加え、ガーデン・オブ・ザ・ゴッズやフロリッサント化石林国定公園、グレートサンドデューンス国立公園など、多彩な訪問先を通じて自然と文化のつながりを深く学ぶことができる。



コロラドスプリングズ

◆ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ (Garden of the Gods)

赤い奇岩群の壮大な景観をハイキングで巡る。



◆フロリッサント化石林国定公園 (Florissant Fossil Beds National Monument)

数百万年前の植物や昆虫の化石を観察する。

◆ミューラー州立公園 (Mueller State Park)

ロッキー山脈の大自然をハイキング（スノーシュートレッキング）

◆マニトウ・スプリングス (Manitou Springs)

湧き出る天然の炭酸泉を体験する。

◆サライダ (Salida)

温泉に入りながらリラックスする。山間の小さな町を散策



◆グレートサンダーデューンズ国立公園 (Great Sand Dunes National Park)

北米最大の砂丘を歩いて冒険する。



参加要件

- TOEIC 500点以上取得していることが望ましい。
- 有効（残存期間が入国日より6か月以上）なパスポートを所持していること。

申込期間

12月19日（金）（〆切）

- 選考により参加者を決定します。

申込方法

- 応募者の在籍大学担当者がとりまとめ、
金沢大学周知担当者に以下の情報をメール送付
- 応募者の大学名・所属学部・学年・氏名・性別
メールアドレス
- 周知担当者：金沢大学国際部留学企画課留学推進担当
藤原
Eメール：studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp

注意事項①

- 応募者の在籍大学が定める海外渡航前の手続規定を遵守してください。
- 留学に伴う渡航期間中の災害、暴動、テロ、事故、疾病、犯罪などによる損害について、金沢大学は一切の責任をおいません。また、参加者の故意、過失、法令違反または公序良俗に反する行為によって、留学機関又は第三者に対して損害等を与えた場合は、金沢大学は一切の責任をおいません。
- 応募者の在籍大学が指定する海外旅行保険・危機管理サービスの加入が必須です。
- プログラム参加には心身ともに健康状態が良好であることが前提です。
- 現在治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。

注意事項②

- 感染症（インフルエンザ・新型コロナウイルス等）の罹患により渡航できなくなった場合や、渡航中に罹患した場合の隔離等に伴い発生する費用は、自己負担となります。
- 各国の治安、疫病、災害等の状況によっては、派遣先機関と協議のうえ金沢大学の判断により、直前での派遣中止、もしくは渡航後の途中帰国を指示する場合があります。※キャンセル料は自己負担となります。

問い合わせ先

【プログラム内容について】 ※平日のみの対応となります

ママードウア アイーダ金沢大学准教授

Eメール : mammadova@staff.kanazawa-u.ac.jp

【事務手続きについて】 ※平日のみの対応となります

金沢大学国際部留学企画課留学推進担当 藤原

Eメール : studyabroad@adm.kanazawa-u.ac.jp